

◆日本動物遺伝育種学会第23回大会開催のご案内◆

皆様にはこの通知が大変遅くなって申し訳ございません。開催について慎重に検討し、オンライン開催に変更することとしました。

日本動物遺伝育種学会第23回大会(鹿児島大学)を下記の要領で開催しますので、多数のご参加をお待ち申し上げます。よろしくお願いいたします。

1. 日本動物遺伝育種学会第23回年次大会

日時：2022年11月26日(土)

場所：Web(鹿児島大学)

口頭発表(特別賞選考対象演題)、口頭発表(一般講演)

- | | |
|----------------------|---------------|
| (1) ZOOM 接続開始 | 8:30 ~ |
| (2) 大会長挨拶 | 8:55 ~ 9:00 |
| (3) 特別賞選考対象演題の発表 | 9:00 ~ 11:00 |
| (4) 休憩 | 11:00 ~ 11:15 |
| (5) 特別賞選考対象演題の発表 | 11:15 ~ 13:00 |
| (6) 昼食休憩 | 13:00 ~ 14:00 |
| (7) 一般講演 | 14:00 ~ 15:30 |
| (8) 特別賞授与式および学会長閉会挨拶 | 15:30 ~ |

演題数によって上記スケジュールは前後することをご了承ください。

2. 日本動物遺伝育種学会シンポジウム

テーマ：畜産の将来に向けた技術と育種の役割

日時：2022年11月27日(日)

場所：Web(鹿児島大学)

- | | |
|---------------|--------------|
| (1) ZOOM 接続開始 | 8:50 ~ |
| (2) 大会長挨拶 | 9:00 ~ 9:05 |
| (3) 講演 | 9:05 ~ 11:30 |

座長：西堀 正英(日本動物遺伝育種学会会長 広島大学 教授)

講師 後藤 貴文 先生(鹿児島大学 教授)

上本 吉伸 先生(東北大学 准教授)

師田 郷太 先生(米国バージニア工科大学 助教授)

- | | |
|----------|---------------|
| (4) 総合討論 | 11:40 ~ 12:00 |
|----------|---------------|

3. 会場

ZOOM による Web 開催とします。

4. 一般講演および特別賞選考対象演題の口頭発表について

- (1) ZOOM の資料（発表スライド）共有によるオンライン発表を行っていただきます。
- (2) 発表時間は、特別賞選考対象演題は 15 分（発表 10 分、質疑応答 5 分）、一般講演は 10 分（発表 7 分、質疑応答 3 分）とします。
- (3) 資料の共有は発表者自身が行ってください。資料（発表スライド）は PDF ファイルとします。資料の事前提出は必要ありません。
- (4) 特別賞選考対象演題の発表のうち、プレゼンテーション、内容等が優秀と認められる者に優秀発表賞（6 名程度）、そのうち特に優秀と認められる者に学会長特別賞（2 名程度）を授与いたします。

5. 参加申込

- (1) 大会参加費： 普通会員 2,000 円
 学生会員 1,000 円
 非会員 4,000 円
- (2) 振込先： 鹿児島銀行 みずほ通支店（店番 1 1 2）
 普通 口座番号： 3053483
 名前：日本動物遺伝育種学会第 23 回大会
 (ニホドムウブツイケンイクシユガクカイダイ 23 カイカイ)
- (3) 参加申込締切：11 月 11 日（金）
- (4) 参加申込：
 下記の Google フォームから情報をご記載下さい。
 <https://forms.gle/3Y51fHTJWqLfX8nW6>
 （不具合があれば、simogiri@agri.kagoshima-u.ac.jp に連絡ください）

6. 発表申込

- (1) 事務局までメールにて講演要旨（Word ファイル）をお送りください。（送り先：
simogiri@agri.kagoshima-u.ac.jp）
- (2) 大会の発表者は、本会会員に限ります。非会員の方で発表される方は、入会手続きを済ませてからお申込ください。入会手続きにはホームページがご利用いただけます。
- (3) 発表申込締切：10 月 31 日（月）
- (4) 特別賞選考対象演題は自己申告といたします。原則として、学生あるいは博士学位取得 5 年以内の方を対象としています。
- (5) 講演要旨は<主唱者の氏名および肩書>、<発表区分（一般発表 or 特別賞選考対象演題）>、<演題名>、<発表者名および所属（主唱者に○）>、<要旨本文>から構成されます。要旨本文は 800 字以内でお願いします。主唱者の肩書については、学生、

ポスドク、その他から選択してください。また、学生の方は学年も記入して下さい。
例) B4、M2、D1 など

講演要旨例

<主唱者の氏名および肩書>

主唱者：米坂陸、肩書：学生 (M2)

<発表区分>

特別賞選考対象演題

<演題名>

DigiTag2 assay を用いたアジア牛集団に対する遺伝的類縁関係と遺伝的構造の解析

<発表者名、所属>

○米坂陸(神戸大院農)、笹崎晋史(神戸大院農)、安江博 (つくば遺伝子研究所)、庭田悟 (クラボウ)、向井文雄(全国和牛登録協会)、万年英之(神戸大院農)

<要旨本文>

【目的】本研究ではアジアにおける牛集団に対して、121 SNP を用いたそれらの遺伝的多様性や遺伝的類縁関係、遺伝的構造などを調査した。<<中略>>また、ベトナム在来牛においては、北部と南部で分集団が観察された。南部は近隣諸国 (カンボジア、インドネシアなど) から導入された牛の影響を強く受けているという報告があり、本結果はそれを反映していると考えられた。

7. 大会運営組織

日本動物遺伝育種学会第 23 回年次大会実行委員会

大会長：後藤 貴文 (鹿児島大学)

大会実行委員長：下桐 猛 (鹿児島大学)

実行委員：河邊 弘太郎 (鹿児島大学)

8. 連絡先

鹿児島大学農学部

大会実行委員長 下桐 猛

Tel : 099-285-8588

E-mail : simogiri@agri.kagoshima-u.ac.jp